学校番号	1006

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書造形演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

様々な古典の書の基本的な表現方法を学ぶことで、多様な文字造形についての理解や興味、関心を深め、自己表現をさらに広げられることを目指します。
自己表現するための題材や用具・用材の工夫をし、文字造形の創作的な表現を身に付けます。

2　学習の到達目標

・作品を効果的に表現する手法を習得する。
・幅広い書道活動の中で、書を愛好する心を育て、それと共に感性を豊かにし、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書表現の多様性について理解を深める。
・書に関心をもって作品制作に取り組み、伝統と文化を知ろうとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	用筆･運筆と書体･書風との関わりについて理解している。 作品を効果的に表現するために必要な技能（用筆・運筆）を身に付けている。	古典と臨書作品の比較や作品鑑賞をし合うことで表現の違いについて考察する。 自らの意図に基づいて作品の構成を工夫している。	書の造形美に関心をもち、書による様々な表現方法を学び、作品制作に取り組もうとしている。また、書の伝統と文化についての理解を深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書(楷書)	・九成宮醴泉銘の鑑賞と臨書 ・孔子廟堂碑の鑑賞と臨書 ・龍門造像記の鑑賞と臨書 ・漢字作品の制作 (好きな熟語を色紙へ書く) ・創作作品の鑑賞会	a: 各古典に応じた用筆・運筆と書風との関わりを理解し、効果的な表現となる技能を身に付けている。 b:作品の書風に応じた表現になるように構成を工夫している。互いの作品を鑑賞し、様々な表現方法の良さや美しさを味わっている。 c: 各古典の伝統と文化に関心を持ち、意欲的、主体的に表現技法を高めようとしている。	ワークシート 臨書作品	ワークシート 創作作品 鑑賞シート	振り返りシート 授業観察
	姓名印の作成(篆刻)	・自分の名前調べ(篆書体) ・印稿作成 ・布字から印箋に押印まで	a:篆書体の特徴を理解し、篆書の基本的な用筆を身に付けている。白文、朱文の特徴を理解し、刻している。 b:篆書における分間布白を考えて印稿全体の構成を工夫している。互いの作品を鑑賞し、篆刻による書のよさや美しさを味わっている。 c: 篆書体調べを通して書体の変遷について関心を持ち、意欲的、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 印材	印稿 印箋 鑑賞シート	ワークシート 振り返りシート 授業観察
2学期	漢字の書(篆書、隷書、草書、行書)	・石鼓文の鑑賞と臨書 ・木簡の鑑賞と臨書 ・十七帖の鑑賞と臨書 ・集王聖教序、祭姪稿の鑑賞と臨書	a: 各書体の基本的な用筆方法を理解し、古典に応じた表現技法を身に付けている。 b: 古典に応じた用筆・運筆を考え、構成を工夫して表現している。各書体・各古典の比較を通して、様々な表現方法の良さや美しさを味わっている。 c: 書体の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート	臨書作品 鑑賞シート	振り返りシート

	表札作成（刻字）	・表札にする書体・書風を字典で調べる ・草稿作成 ・作品の相互鑑賞	a: 各書体・書風の特徴を理解し、基本的な用筆を身に付けている。 b:表現したい書風となる草稿の構成を工夫している。互いの作品を鑑賞し、刻字による書のよさや美しさを味わっている。 c: 名前の書体調べを通して様々な書体・書風に関心を持ち、意欲的、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート	草稿 表札作品 鑑賞シート	振り返りシート 授業観察
3学期	仮名の書	・仮名の書の特徴 ・高野切の仮名の練習 ・作品制作 （百人一首を短冊に書く）	a: 仮名の書表現をするための基本的な用筆・運筆を理解し、基本的な表現技法を身に付けている。 b:自らの感性や意図に基づいて、単体、連綿や全体の構成を工夫し、表現している。 古筆のもつ伝統的な美を感受し、 c: 仮名の書の伝統と文化について関心を持ち、仮名の書の良さや美しさを味わい、主体的な表現に取り組もうとしている。	ワークシート 課題作品	草稿 短冊	振り返りシート 授業観察
	漢字仮名交じりの書	・様々な作品の鑑賞 ・用筆等の違いによる表現 ・構成の違いによる表現 ・創作作品の制作（好きな詩歌や俳句、短歌を書く） ・作品発表	a: 作品の意図を明確にするための表現の違いを理解し、技能を身に付けている。 b:これまで学習した名筆の特徴を生かし、作品の意図に即した表現の工夫をしている。互いの作品を鑑賞し、表現の多様性を理解し、鑑賞力を深めている。 c: 文字の選定、作品の意図に即した書体・書風・全体構成について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 課題作品	草稿 創作作品 鑑賞シート	振り返りシート 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度